



消防 出初め式

Contents

平成20年第4回定例会	2	3
一般質問	4	8
平成21年第1回臨時会		8
視察研修報告		9
議会日誌・編集後記		10

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

平成20年 第4回定例会



平成二十年第四回定例会は十二月十日から十二月十八日まで開催され、議案十二件、陳情六件、発議一件、継続審査一件、同意一件を審議した。また一般質問は九人全員が登壇し「平成二十一年度予算編成について」「介護保険料について」「平山保育所民営化断固反対について」「遍路バスの無断駐車について」「宇多津町南部地域の開発について」「臨海公園の恋人の聖地モニュメントについて」「総合型地域スポーツクラブの育成支援について」「まちづくりファンドについて」「男女共同参画社会の推進について」などについて活発な議論が交わされました。

主な内容

○平成二十年度一般会計補正予算(第三号)

二億三千三百五十三万四千円を追加し総額五十八億一千三百八十八万三千円に

全会一致で原案可決

○平成二十年度宇多津町介護保険特別会計補正予算(第一号)

二百三十二万六千円を追

加し総額八億一千二百五十二万四千円とした。

全会一致で原案可決

○平成二十年度宇多津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

八十六万一千円を追加し総額一億四千二百三十五万一千円とした

全会一致で原案可決

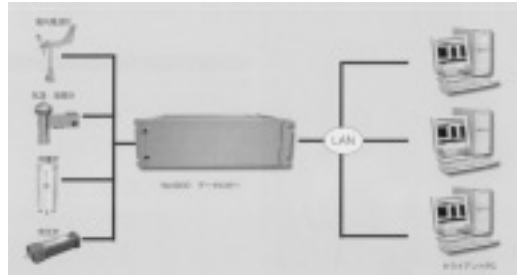
主な補正内容（事業）

消防施設整備補助事業費

気象観測装置の購入費に約450万円



画面例



WEB対応型気象観測システムの例

条例改正

- 宇多津町国民健康保険条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

内容 国民健康保険の出産育児一時金の金額などを改正するため

- 宇多津町産業資料館の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について

全会一致で可決

内容 資料館を増改築し、その設置目的及び管理の変更をするため

請負契約

- 宇多津町産業資料館増改築工事（建築工事）請負契約の締結について

全会一致で可決

内容 一億五百万円で富士建設㈱丸亀本店（丸亀市土器町東八丁目四六六番地）が受注した

陳情

- 現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書について

賛成少数（一人）で否決

- トンネル人肺根絶を求める要請書について

全会一致で可決

- 地方切捨てを許さず、事務所・出張所の存続を求める陳情書について

賛成少数（二人）で否決

- 介護療養病床廃止中止を求める意見書採択を求める陳情書について

賛成少数（一人）で否決

- 「気候保護法（仮称）」の制定を求める意見書について

賛成少数（一人）で否決

- グーグルマップ「ストリートビュー」に関する規制及び法整備を求める意見書について

賛成多数（八人）で可決

発議

地方の道路整備のための財源確保に関する意見書について

全会一致で可決

人事案件

宇多津町教育委員の選任について

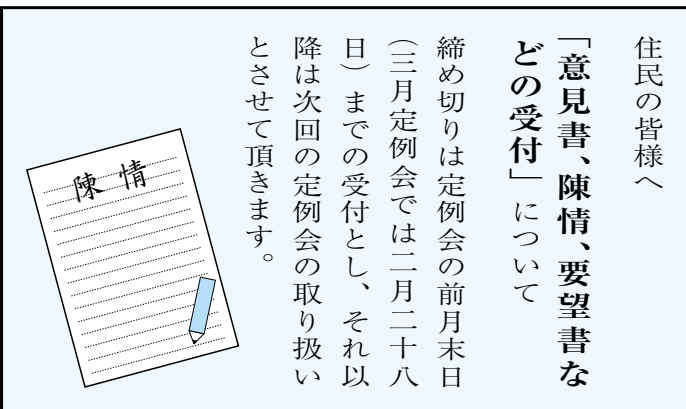
水尾裕美子氏（再任）（宇多津町一八九三番地二）の選任を

全会一致で同意

住民の皆様へ

「意見書、陳情、要望書などの受付」について

締め切りは定例会の前月末日（三月定例会では二月二十八日）までの受付とし、それ以降は次回の定例会の取り扱いとさせていただきます。



Q&A

平成21年度予算編成について



池田弘昌 議員

Q 世界的な金融危機を受けて景気が低迷するなか、町の税収も前年よりもマイナスが予想されますが、来年度の予算編成についてお聞かせください。

A 谷川町長

ご指摘のように、今、国の内外で、経済的、社会的に混乱している状況です。我々、国、地方自治体は、税収でもって行政の運営を図っていますから、税収の見通しが立たない、上がってこないという状況は十分に認識をして、今後取り組まなければならないと考えています。

そこで、先般、議会にご提示、ご説明を申し上げました中期財政計画も、このようなことを一定に織り込みながら、国の財政収支に対する流れ、地方交付税への対応の予測なども含めて、中期財政計画を立てさせて頂きました。また、収入と収支を見通しながら、支出を見通しながら財政計画を立てさせて頂き、ご説明を申し上げたところであります。なお、二十一年



度にはいわゆる単年度収支で赤字になってくる見通しであり、さらには二十年度は財政調整基金も底をついてゼロになるという見通しです。

非常に歳入が右肩下がりに減収になっているというようなことを予測しなければなりません。財政のいわゆる硬直化は避けなければならないと考えており、柔軟性の確保を図る、さらには財政規律の確保を視野に置いて、財政運営をしていかなければならないと思っています。

介護保険料について



藍川佳津樹 議員

Q わが町の介護認定者数は坂出市の七分の一で、六十五歳以上の認定割合でも坂出市より低い。その他の関連数値をみても、わが町の保険料が突出して高い理由がみつからない。来年度の保険料改定の見通しを伺いたい。

A 山下健康増進室長

保険料が高いのは、各種介護サービス事業所の充実や地理的な好条件に起因しています。特に在宅・施設サービス給付費が国と県の平均を上回っています。

当町としては、適切なケアプランに基づいて適正なサービスを提供することを前提に、サービスを受ける方ができるだけ満足されるサービスを提供したいと考えておりますので、それに必要な保険料を算定させていただくこととなります。

国は介護報酬を三%引き上げる方向ですが、詳細な部分は決定がなく、今後、国の情報を十分勘案して保険料を設定する必要があるのではないかと考えます。

Q 中学生の海外派遣研修について

現行制度ではある程度経済力がないと参加できない。真に意欲ある生徒を選抜して最低必要経費を全額補助し、かつ、派遣地域にアジア圏を加えて時代の流れに対応すべきではないか。

A 山分教育長

予算に限りがある中で、できるだけ派遣し、体験をさせたいという思いはあります。なお、現在は二分の一を補助していますが、参加意欲があるが経済的な課題で参加申し込みができない生徒に対して、どのような手法があるのか、研究課題とさせて頂きたいと思っています。

また、教育委員会や中学校で方法などを検討中ですが、オーストラリア派遣は今までどおり継続し、アジア方面は国際協力団体などが実施する事業の中で派遣する案が出ています。募集時期がまだ明確でないということで、これからまだまだ検討を重ねていきたいと思っています。

保育制度改悪で平山保育所民営化断固反対



井原猛雄 議員

Q 保護者は、平山保育所民営化反対署名を町長に提出した。保育制度改悪の民営化は、住民を保障する「福祉」から保育サービスを買う「市場化」へ様変わりする。国や市町村の公的責任は後退し、保育の安心・安全を崩すものだ。全国2万箇所の保育所は騒然となり、昨年11月には東京日比谷野外音楽堂で2万8千人の全国大集会が成功、5百万署名はその月に150万を超えた。こういう動きの中の平山保育所民営化は断固反対する。

A 亀井保健福祉課長

保育所の民営化反対ということでお聞きいたしました。再度これまでの経過を改めてご説明いたしますと、本町では平成十七年度に行政改革の宇多津町集中改革プランで公立保育所の民営化を検討するということが掲げられました。また、平成十八年度には、町職員で構成する保育所民営化検討委員会にて検討し、平成十九年度には保

育所民営化検討委員会を設置いたしました。保護者の皆さまや住民の代表者、また、福祉や保育にかかわる学識経験者等を交えて委員として貴重なご意見を賜り、様々な角度から検討を重ね、本年二月末にその報告書を取りまとめられているものであります。議会におきましても本年度に入りまして、四月からこれまでに七回ほど議員総会を開催して頂き、民営化に関する内容説明や質疑や協議等を行って参りました。また、それと並行しまして、保護者の皆さまに対しまして説明会、意見交換を行ってきまして、保護者の皆さまの不安や要望に対してできるだけ取り組んでいけるようにしてきたところでございます。今後は民営化選考委員会を設置する予定としております。以上の経過を述べましたが、今後はご理解とご協力を賜りたいと思っております。

どうにかならぬか お遍路バスの無断駐車



平田弘次 議員

Q お遍路バスの無断駐車により道路が遮断され、歩行者や自動車、自転車等の走行の妨げになっている。観光振興の面で公共性があるものとして扱い、宇多津町にて駐車場を用意するなど対策はできないか。

A 亀谷住民生活課長

ご指摘の筋で、観光バスが繋がって止まって、交通事故などの危険性もあるということで警察署と交番にパトロール強化を依頼してあります。町は以前からお寺さんに駐車場確保を要請しており、今後、余りにもひどい状況になると交通規制などの対策が考えられますが、規制についても地域住民の方の意見なども参考にしながら対応して参りたいと思っております。

基本的には町が駐車場の確保を行うということでは考えていません。前々からお寺さんにはその確保をお願いしていますので、引き続きお寺さんで確保をして頂くように指導をしたいと考えています。

Q 観光施策について

国交省は外局として観光庁を新設し、「観光立国」として推進を強化しようとしている。観光庁の設置に伴い、同庁との連携を積極的に取り、全国的に宇多津町のすばらしさをアピールしてみてはどうか。

A 谷川町長

ご指摘のとおり、我々の活動なり、まちづくりなりを広く知らせていかなければならないと思っております。県の事業へ町が加わるなどしてありますが、その様なネットワークを通じて知らせていきながら、町の振興を図りたいと思っております。

A 三芳産業振興課課長補佐

町は、さぬき瀬戸大橋広域観光協議会に加入し、街頭活動などに参加して観光客の誘致に努めています。また、魅力あるまちづくりを理念として住民参加の催し物を行い、町内の神社、町並みの散策で町の魅力を再認識してもらい、新都市での催し物などを継続し、地域住民の交流、町のアピールに努めて参ります。

Q&A

宇多津町南部地域の開発は

Q

明日の宇多津プラン、その中に南部地域の新田園都市構想がありますが、町長はどのような新田園都市構想を、お考えですか。

定住人口の増加のためや、農業の効率化のための、南部地域の道路整備の予定は。

A 谷川町長

いわゆる田園のよさを残しながら一定の開発をしていくということが、この地域において望ましいのではないかと考えています。そして、特定用途制限地域の指定をさせて頂き、限られた財源の中で、調整の中で最優先される課題を選択しながら、今、都市化の最大の条件の一つ、公共下水道を進めています。また、要望もありましたから、道路計画を立てて、議会にも、関係の水利組合の代表者の方々にも計画の説明もさせて頂きました。そういう中で、計画に基づいて順次、今道路整備はしておりますので、ご理解を賜りたいと思っております。

Q

総合型スポーツ施設の利用状況は

総合型スポーツ施設（中学校の旧体育館）の、現在の利用状況は今後、施設の有効活用や使用方法は利用が無い時などは、中学校の部活動などに使用する事は可能ですか。

A 合田教育次長

施設は九月下旬から住民の方々に開放しています。今日まで、武道団体、バトンクラブなどの練習や大会の場として、また、行政主催のメタボ体操の講座の場として使用している状況です。今後ですが、今回、キンボールなど軽スポーツ用具をそろえました。そういう中で、町体育指導員による軽スポーツの実技研修会を行うなどして、住民の方々が気楽に軽スポーツに取り組み、自ら健康づくりを行える場として開放し、また、施設を使用しないときには、中学校の活動にも活用することを視野に入れた施設活用を行いたいと考えております。



宮本 隆 議員

臨海公園の「恋人の聖地モニュメント」とは

Q

産業資料館の東に設置予定のようですが、事業主体は。また、その財源と、何を表現するもので周辺の整備はあるのか。そして、現存する記念碑と南京錠記念物は。

支援事業が終了する「平成相聞歌」は今後どうするのか。

A 谷川町長

建設には多くの意見を取り入れ、若い人が訪れるまちづくりを総合的に検討しご提言を頂けたらという思いで、恋人の聖地活用検討協議会に検討をお願いしているところです。主体は恋人の聖地活用検討協議会など民間主導で、資金は現在検討中のまちづくりファンドの活用、支援などを視野に置き、推進できればと考えてます。

A 三芳産業振興課長補佐

周辺の整備は、産業資料館や臨海公園がリニューアルされるので、協議会などと調整したいと考えてます。既存の記念碑は移設、南京錠モニュメントは撤去予定です。相聞歌は、入賞作品の歌碑を臨海公園線の歩道に設置予定です。

Q

香川滞納整理推進機構の活用を

町税滞納の現状と今後の滞納予測と不納欠損処理総額の推移はどうか。機構を8市6町が利用し、徴収金額が増えているが、活用予定は。

前年度に税務職員を募集しましたが、結果と今後は。

A 谷川町長

税務に精通し、一定の経験を持つ者をとということで募集しましたが、残念ながら応募がなく、人員配置を考えて、内部でその職員の養成をするの考えで人事の異動を行いました。

A 馬場税務課長

町税の滞納は、税源移譲などにより、滞納額が今後も増加の傾向にあると予測され、不納欠損は、二十年度については現在、調査、確認中です。

税務上級職員については今後、当面募集はいたしません。

香川滞納整理推進機構の今後の利用は、高額悪質滞納者を対象に機構を活用したいと思っております。



大松喜次郎 議員

男女共同参画社会の推進について伺いたい。



西本弘子 議員

Q 本町でも男女共同参画社会の実現を目指しているいろいろな取り組みがなされてきたが、町職員の女性管理職の登用は依然として進んでいない。今後の具体的な対策を伺いたい。

A 谷川総務課長

管理職（係長以上）の五十一名の内、女性は十三名です。課長補佐級以上の職員三十五名の内、女性は七名です。課長職に現段階では女性はいませんが、課長補佐級以上の女性職員の構成比率は、平成十五年六月当時の約二倍近くになっています。

また、毎年、職員に研修要領を提示しており、職員が自主的に研修内容を選択し、研修することができます。これは、男女を問わず、意欲があれば能力が付くことに繋がるものと考えます。人事考課制度なども活用して、男女を問わず、能力のある方の管理職への登用を図っていきたいと考えています。

Q 本町でも病後児保育を取り入れてはどうか。

A 亀井保健福祉課長

本町でも取り組みを検討していますが、現在、医療機関併設型は医療機関の都合上、困難と判断しています。保育所併設型は、実施する場合、感染症にかかった児童の受け入れなども考慮すると、症状別の部屋が必要かと考えております。

国の動きとしては、平成二十一年度から、ファミリーサポートセンター事業の機能を強化し、病児・病後児の預かりを適切に実施できる対応を計画していますが、本町としては病児・病後児を一般の家庭で預かるということは、まだまだ気がかりな点もございますので、内容を十分見定めて参りたいと考えています。

まちづくりファンドについて



谷川俊博 議員

Q まちづくり基金からの助成対象となる事業は、どのようなものを考え、どのような事業を想定されているのか、また、助成を決定するまでの、手続のフローやプログラム、審査基準、選定方法等は、どのようにお考えなのか

A 北本政策調整室長

ソフトコースとしてまちづくり活動に対する助成、ハードコースとしてまちづくり活動に必要な施設整備に関する助成を考えています。想定しているソフト事業は、広がりを持つまちづくり活動、ハード事業は、三事業を計画していますが、六月に応募受付、七月に公開審査、十月に助成金交付となります。活動期間は二十二年三月末までです。二十二年度分から通常の日程となり、十月に応募受付、二十二年四月に助成金交付となります。審査基準は、公益性のある活動かどうかなどです。選定では公開審査会を開催する予定です。

ソフトコースとしてまちづくり活動に対する助成、ハードコースとしてまちづくり活動に必要な施設整備に関する助成を考えています。想定しているソフト事業は、広がりを持つまちづくり活動、ハード事業は、三事業を計画していますが、六月に応募受付、七月に公開審査、十月に助成金交付となります。活動期間は二十二年三月末までです。二十二年度分から通常の日程となり、十月に応募受付、二十二年四月に助成金交付となります。審査基準は、公益性のある活動かどうかなどです。選定では公開審査会を開催する予定です。

Q まちづくり交付金事業について

A 北本政策調整室長

5カ年で、総事業費9億9千800万円、約10億円を投入する、一大プロジェクトを進めて参りました。来年度は最終の年であり、総仕上げの年度です。進捗状況と最終年度の事業計画は

進捗状況ですが、二十年度末で計画変更を行い、臨海公園の水族館誘致箇所部分の整備を削減しますので、最終の総事業費は約八億三千万円になる予定です。この最終事業費をベースにしますと、二十年度末で事業費の六十五%が発注済みになる予定です。来年度は、公園整備を二カ所、道路整備を二路線計画しています。公園整備の箇所は臨海公園と網の浦地区の公園、道路整備の路線は郷照寺から地蔵餅さん、さらに網の浦町営住宅跡地交差点までの二百十五mと保健センター東側、大東川左岸堤防、町道網の浦川端線の歩道部分八十mを整備します。

総合型地域スポーツクラブの育成へ支援を！



香川虎生 議員

Q 総合型スポーツクラブの宇多津町での現状は。

特徴あるクラブが出来ると思うが、クラブの育成に支援、協力出来ないものか。

A 合田教育次長

クラブの設立に向けて活動している状況です。とくに、キンポールを中心として、設立に向けて活動している状況ですから、設立後、クラブ側から運営上必要という意見があれば、その時期を見て検討し、協力などを行っていききたいと思います。

画などに則った事業を展開し、新年度予算もそのように取り組むということですが、今後は国の動静も見定めて、堅実な歳入確保の上での事業展開が必要と思います。

A 山分教育長

来年度の具体的な取り組みについては、検討会で協議していきたいと思っています。

A 岡田水道課長

来年度の水道料金の値上げは考えていません。

A 合田教育次長

学校給食の基本物資の価格改定について、正式な通知が（財）香川県学校給食会からあった時点で、給食費の改定について協議を行いたいと考えています。

A 馬場税務課長

平成二十一年度の評価替え土地評価は、二%の下落を予測していません。

Q 平成21年度の予算編成は？

宇多津教育マスタープラン実施3年目に向けての特色は。水道料金、給食費の値上げはあるのか。固定資産税の評価見直しの年であるが見直しは。

A 谷川町長

基本的な考え方は、中期財政計

平成21年 第1回 臨時会

一月二十日臨時会が開催された。臨時会に至るまでの経緯は、さる一月七日臨時の議員総会が開かれ臨海公園内における松の木の新定事案に関する経過報告がなされた。主な内容は、剪定の許可は町が行ったが、その後の作業の手順などが十分に打ち合わせできないまま、このような事態となった。許可を出した町に責任があるため町が費用を負担する。町長自身は自分を律するという内容であった。議員の中から、町費を出すのはおかしいのではという意見がなされた。また14日にこの件についての説明が議員総会であり、今度は修復（できる限り原状復帰に近づける）費用は全額相手方の会社が負担するという内容であった。町長は自身の責任をとり給与の二分の一の減額を二か月行いう旨の説明がなされ、専決処分をしたい旨の申し出があった。16日に更に経過説明を経て一月二十日に臨時会を招集した。

議案第一号 宇多津町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例について

内容 臨海公園における松の木の新定事案における許可権者としての責任を明らかにし、損なわれた町政への信頼回復の一環として自らの給与を減額する。町長の給与を平成二十一年一月一日から二月二十八日までの間、給料月額からその額の100分の50に相当する額を減じた額にする。

賛成多数（八人）で原案可決

議会運営委員会 京丹後市議会を視察研修して

議会運営委員会は、平成20年10月17日に京都府京丹後市の市議会を視察研修しました。丹後半島にある6町が平成16年に合併して市となりました。市庁舎は旧の峰山町にあります。

今年度から市議会基本条例を施行していますが、市議会の特徴は、「議会広報の充実」と「議会インターネット中継」です。



京丹後市庁舎

議会広報の充実としては、市議会のホームページを充実するほか、議会資料及び会議録等のCD・ROM化等を行い、市民への貸し出し等を行っています。また、市議会だよりに、主な議案の討論内容を掲載している。さらに、市民との対話の機会を設け意向を把握するため、毎定例会閉会后に、旧町

単位で議会報告会（30人程度）を開催しています。インターネット中継については、本会議の模様をインターネット及び市内の公共施設に設置のプラズマテレビで生中継し、市議会のホームページにより録画配信をしている。ライブ中継のアクセス件数は、6月定例会で1900件であった。本町は、21年度から町議会基本条例を施行する予定ですが、町民への説明を十分行えるように心掛けたと思います。

防災対策特別委員会 視察報告

平成20年11月12日に岐阜県大垣市に視察に行った。同市は多くの一級河川が流れているため、古くから「水都」と呼ばれ、良質で豊富な地下水に恵まれてきた反面、古来よりしばしば洪水の被害をもたらしてきた。これらの歴史的背景に伴い、自身で守る「自助」、地域で守る「互助」、自治体が果たす「公助」を基本とし、常に災

害に強いまちづくり取り組んでいく先進地でもある。

同市内のほとんどの自治会には、自主防災組織が結成されており、いつ起こるか分からない災害に備えて、日頃から各地域での防災訓練が行われている。

また、災害図上訓練や洪水避難地図などの使い方の出前講座が市職員中心により開催されており、

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識が強くうかがえる。「公助」の面においては、地域の防災力を高めるために「防災士」の資格を取得する市民に対し、その資格取得費用の補助をする「防災士養成事業補助制度」を設けている。宇多津町でも防災マップの配布や携帯電話のメールを使った避難情報の配信などを行っているが、大垣市の防災施策をかんがみると模範とすべき事が多く、今後の防災意識の充実に役立てたい。



議会日誌

11月

- 3日 町制施行110年記念式典
- 4日 議員総会
- 12・13日 防災対策特別委員会研修
- 17日 議会運営委員会・議員総会

12月

- 3日 議会運営委員会
- 5日 全員協議会
- 9日 議員総会
- 10日 第4回定例会本会議
- 12日 一般質問
- 15日 総務民生、建設教育合同委員会
- 16日 総務民生常任委員会
- 17日 建設教育常任委員会
- 18日 全員協議会・本会議
- 24日 臨海公園等再編整備特別委員会
- 26日 仕事納め

1月

- 5日 仕事始め・議員総会
臨海公園等再編整備特別委員会
- 7日 議員総会
- 14日 議員総会
- 16日 議員総会
- 20日 第1回臨時会
- 27日 香川県広報発行町議会連絡協議会研修

表紙の言葉



宇多津町消防団の出初め式が1月11日にきびしい寒風のなか行われました。

消防団員は強風のなか、隊列行進や車両行進をきびきびと行いました。

その後泡消火や放水訓練などが実演され、宇多津町の戦士ソルトマンも訓練に参加しました。

火災や自然災害に頑張っている消防団員の皆様、それを支えている家族の方々のご苦労に町民一同深く感謝している事と思えます。

今後いつ、どこで自然災害や火災が発生するかわかりませんが、その時に最新の車両や機器類が、いざという時すぐに役立つよう日々の訓練や管理をよろしくお願いいたします。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会・夜間議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等はお受けする事ができません）

議会広報特別委員



西本弘子委員 大松喜次郎委員 宮本 隆 委員
平田弘次副委員長 青木義勝議長 香川虎生委員長

年が明けて早や一カ月経ちました。昨年「変」という漢字で表わされましたが、政治も経済も予測のつかない変化を遂げた一年でした。経済不安が解消されないまま新年を迎え、いわゆる「派遣切り」で住む所さえ追い出される人が都内の公園に溢れました。もはや「人手不足」という言葉は影を潜め、まだ年若い人が炊き出しに群がる光景には心が痛みます。さて、今年も牛年。牛は古くから農作業などに使われる身近な動物でしたが、そのゆったりしたさまで「牛歩」などの言葉にも使われます。先行き不透明な昨今ですが、ここは牛に倣って、いい意味でゆっくりと一歩一歩確実に歩んでいきたいものです。(H・N)

編集後記